

RANDO SPORTS BNR34

●フロントバンパー	6万900円 (FRP)
●サイドステップ	5万5650円 (FRP)
●リアバンパー	6万900円 (FRP)
●3点フルキット	16万6950円
●カーボンボンネット	8万1900円

取材時は、ER34スカイラインにBNR34用のエアロを使い、オートスポーツラビットがチューニングを行ったもの。スカイラインを専門に扱う高橋2号店が担当し、エクステリアだけでなく、エンジンや足まわりまで含めたトータルチューニングを行なう



FRONT BUMPER



REAR BUMPER



SIDE STEP



TUNING POINT

このER34はランドスポーツのBNR34用エアロを使いGT-Rルックに仕上げただけでなく、オートスポーツラビットの手によりエンジンをRB20に換装。GTタービンやインタークーラーなどの装着でパワーアップを図り、FRバージョンのGT-Rを完成させている

乱人流 SPORTS RPS13

●フロントバンパー	3万6750円 (FRP)
●カナード	7350円 (FRP)
	1万2600円 (カーボン)

今回撮影した車両は、シルビア&180SX専門として展開するオートスポーツラビット高橋1号店のデモカー。乱人流スポーツのフロントバンパーを中心に、スポコンの要素を積極的に取り入れたカスタマイズを行ない、速さとカッコ良さの両立を表現している



FRONT BUMPER



前置きの大容量インタークーラー装着を想定してデザインされたフロントバンパー。乱人流スポーツ製のパーツはフロントバンパーのみだが、カナードは車両製作を担当したオートスポーツラビットからリリースされている

TUNING POINT

エアロコンセプトと同じく、エンジンにも「ストリートからサーキットまで幅広く楽しむ」をコンセプトにしたチューニングが施される。特に冷却対策も充実していて、ハード走行にも対応する



CLOSE-UP ITEM!! 乱人&ラビットの コラボレート エアロも誕生!!

乱人流スポーツとオートスポーツラビットのコラボレートによる、記念すべき第一弾のエアロ。フロント・サイド・リアの各スポイラーに加え、GTウィング、専用カナード、オイルクーラーガイド、カーボンボンネットなど、周辺パーツを充実させている。

トレンドを先取り! 生まれたてのエアロを速攻チェック

ベース車本来の「カッコ良さ」をより引き出している理由に迫る!

FRESH AERO FILE 2005 #3

Photos/Ryota 432 Text/OFFICE MARUMOO-R

RANDO X BNR34 & RPS13



「乱人流スポーツ」と「ランドスポーツ」の両ブランドを展開するエアロテックジャパン。いずれも、ハイスペックなチューニングカーへの装着をイメージした、個性的なフォルムが特徴。もちろんルックスだけでなく、吸気効率・冷却性能・空力特性など、機能性も追求。ストリートで映えるスタイリングと、スポーツ走行を意図したエアロダイナミクスが融合した、独自のチューンドスタイルを提案しているのだ。

その中でも、ハードユースを想定して進められたのが、ランドスポーツ・BNR34用エアロ。ノーマルだけでなく、大容量タイプのインタークーラーを問題なく装着できるだけのキャパシティが与えられている。また、オイルクーラーにエアを導入するためのサブダクトに加え、プレードクトのサブダクトが設けられているのもポイントのひとつ。超ヘビー級に該当するGT-Rは、周囲を兼ねるとその車重がネックとなり、フロントブレーキに大きな負担を強いられることになる。そこで、このダクトを利用して走行風を送り込み、ブレーキシステムのクールダウンを図ることが可能。

一方、乱人流スポーツからリリースされている180SX用のエアロは、「走行会で速さと個性がアピールできるフォルム」をテーマに開発。前置き大容量インタークーラーへの対応など、機能性を考慮しながらドレスアップも意識したデザインを構築。ボトム部に張り出し感のあるデザイン処理を取り入れ、インパクトの強いフォルムに仕上げている。

なお、乱人流スポーツでは、ラビットスタイルとのコラボレートによるエアロも展開中。まずはFD3Sからリリースを始め、S15やER34などもラインアップする予定だ。

ストリートから派生した 乱人流スタイルが スポーツカーを もっと個性的に演出する!!

